

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	商業簿記Ⅰ	履修	必修
担当講師	工藤正剛、佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	72		単位時間
授業計画	4月	簿記の基礎、現金当座預金、商品売買、手形、様々な取引、有形固定資産	
	5月	資本、その他、試算表、決算、証ひょうと伝票	
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	日商簿記3級の内容を通じ、小規模事業者の経理を学習する。また、『商業簿記演習Ⅰ』における答練に備える。	
授業目標	日商簿記3級テキストの内容をすべて学習。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	商業簿記演習 I	履修	必修
担当講師	工藤正剛、佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	72 単位時間		
授業計画	4月		
	5月	答練(予想問題及び過去問題)	
	6月	答練(予想問題及び過去問題)	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	『商業簿記 I』を受け、日商簿記3級の実践問題(予想問題及び過去問題)の答練を実施。検定合格できる実力を養成、完成する。	
授業目標	日商簿記検定3級合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	工業簿記 I	履修	選択必修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	90		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	工業簿記の基礎、材料費、労務費、経費、個別原価計算、部門別個別原価計算	
	7月	総合原価計算、財務諸表、標準原価計算、直接原価計算、本社工場会計	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	/	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
	授業概要	日商簿記2級の工業簿記の内容を通じ、製造業における原価計算及び管理会計を学習。	
授業目標	日商簿記2級・工業簿記テキストの内容をすべて学習。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	商業簿記Ⅱ	履修	選択必修
担当講師	工藤正剛、佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	108		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	財務諸表、商品売買、現金及び預金、債権・債務、有価証券、有形固定資産、リース取引、無形固定資産等と研究開発費、引当金、外貨換算会計、税金	
	9月	課税所得の算定と税効果会計、株式の発行、剰余金の配当と処分、決算、収益・費用の認識基準、本支店会計、合併と事業譲渡、連結会計、製造業会計	
	10月	/	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
授業概要	日商簿記2級の商業簿記の内容を通じ、中規模事業者の経理を学習。また、『商業簿記演習Ⅱ』における答練に備える。		
授業目標	日商簿記2級・商業簿記テキストの内容をすべて学習。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	商業簿記演習Ⅱ	履修	選択必修
担当講師	工藤正剛、佐々木茂		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習
単位時間数	90 単位時間		
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	答練(予想問題及び過去問題)	
	11月	答練(予想問題及び過去問題)	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
	授業概要	『商業簿記Ⅱ』を受け、日商簿記2級の実践問題(予想問題及び過去問題)の答練を実施。検定合格できる実力を養成、完成する。	
授業目標	日商簿記検定2級合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	国内旅行概論	履修	選択必修
担当講師	玉澤浩光		
担当講師の 実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務。旅行業務に携わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	90		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月	旅行業法、旅行業約款	
	7月	国内実務(地理以外)	
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指し、旅行業法、旅行業約款、国内実務のうち地理以外に関する講義及び問題演習を行う。		
授業目標	9月の国内旅行業務取扱管理者試験の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	国内旅行地理	履修	選択必修
担当講師	玉澤浩光		
担当講師の 実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> 有(玉澤浩光: 元旅行会社勤務。旅行業務に携わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	108		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月	国内旅行業務取扱管理者試験対策	
	9月	国内旅行業務取扱管理者試験及び国内旅行地理検定の対策	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験のうち「国内の観光資源」の分野について学習する。9月の検定後は国内旅行におけるプラン作成を行う。	
授業目標	9月の国内旅行業務取扱管理者試験の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	海外旅行地理	履修	選択必修
担当講師	玉澤浩光		
担当講師の 実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務。旅行業務に携わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	90		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	海外の観光資源① アジア・ヨーロッパ・北米	
	11月	海外の観光資源② 中南米・アフリカ・その他	
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	海外の観光資源について学び、将来の総合旅行業務取扱管理者試験の基礎知識とする。	
授業目標	海外の観光資源についての基礎知識の習得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		



## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	基礎英語 I	履修	必修
担当講師	松田一子		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	38 単位時間		
授業計画	4月	自己紹介、(文法)受け身、単語学習、リスニング学習	
	5月	(文法)現在完了形、単語学習、リスニング学習	
	6月	(文法)疑問文、単語学習、リスニング学習	
	7月	これまでの振り返り、単語学習、リスニング学習	
	8月	(文法)分詞、単語学習、リスニング学習	
	9月	(文法)関係代名詞、単語学習、リスニング学習	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	実用英語技能検定3級の内容を通じ、英語学習の基礎を身に付ける。		
授業目標	実用英語技能検定3級の範囲を一通り終える		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期	
科目名称	基礎英語Ⅱ	履修	必修	
担当講師	松田一子			
担当講師の 実務経験の有無	○無・有( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	36 単位時間			
授業計画	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			過去問対策、ライティング対策、単語学習、リスニング学習
	11月			長文読解対策、単語学習、リスニング学習
	12月			これまでの振り返り、単語学習、リスニング学習
	1月			これまでの振り返り、単語学習、リスニング学習
	2月			スピーキング対策、単語学習、リスニング学習
	3月			これまでの振り返り
授業概要	『基礎英語Ⅰ』を受けて実用英語技能検定3級受験を視野に、その対策のための講義を実施。問題演習も行う。			
授業目標	実用英語技能検定3級を合格できる実力の養成			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	一般教養 I	履修	必修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	38 単位時間		
授業計画	4月	四則演算、分数、小数、割合、比例式、整数、方程式、関数	
	5月	速度算、仕事算、損益算、濃度算、精算、割引、平均、場合の数、確率	
	6月	図表解釈、論理推論、語句の意味と用法、敬語、長文読解	
	7月	2語関係、文法、短文の穴埋め、文章整序、空欄補充	
	8月	非言語問題の演習	
	9月	小テスト(これまでの振り返り)	
	10月	/	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
授業概要	就職における主要な筆記試験SPIの基礎を学習する。		
授業目標	SPIの基礎力の獲得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	一般教養Ⅱ	履修	必履修
担当講師	工藤正剛		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	94		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	時事問題(政治、国際情勢、経済、産業)、SPI小テスト	
	11月	時事問題(金融、科学・技術、自然・環境、社会・生活、教育・文化、スポーツ・芸能)、SPI小テスト	
	12月	一般常識(国語・社会)、SPI小テスト	
	1月	一般常識(数学・物理化学、英語)、SPI小テスト	
	2月	小テスト(一般常識及びSPI)	
	3月	小テスト(一般常識及びSPI)	
授業概要	『一般教養Ⅰ』で学習したSPIに加え、一般常識問題対策を実施。教養をより高める。		
授業目標	SPIの実力定着と一般常識問題に対する基礎力養成		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	コンピュータリテラシー I	履修	必修
担当講師	佐々木真弓		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	64		単位時間
授業計画	4月	コンピュータの基礎と入力練習	
	5月	Wordテキストから図形・表などの作成・練習	
	6月	Wordテキストから図形・表などの作成・練習	
	7月	サーティファイWord検定3級の問題練習	
	8月	サーティファイWord検定3級の問題練習	
	9月	サーティファイWord検定3級のまとめ	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	コンピュータの基礎知識を学ぶとともにワープロソフトの基本操作から応用力も身に付ける。		
授業目標	サーティファイのWord検定3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	コンピュータリテラシーⅡ	履修	必修
担当講師	佐々木真弓		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	72		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	Excelの基礎と入力練習	
	11月	表計算と関数	
	12月	グラフ、データベース、その他	
	1月	サーティファイExcel検定3級問題の練習	
	2月	サーティファイExcel検定3級問題の練習	
	3月	サーティファイExcel検定3級のまとめ	
	授業概要	Excelの基礎を身に付け、表の計算から関数、グラフ、データベースの処理ができるようにする。さらに、サーティファイExcel検定3級を受験するべく対策を行う。	
授業目標	サーティファイExcel検定3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	販売実践 I	履修	必修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	38 単位時間		
授業計画	4月	マーケティングの基本知識4Pの組み合わせ、接客マナー	
	5月	売り場づくり、ディスプレイの色彩・目的・役割・基本パターン	
	6月	マーチャライジング、接客用語、購買心理学	
	7月	POP広告、実践	
	8月	仕入と価格設定、役割分担と準備	
	9月	役割に分かれて準備、後期につなげる	
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	リテールマーケティングのテキストを使用しながら理論的な販売の知識をつけつつ、地元商店街の協力を得て商品化計画と販売の基本を商店街で実践する。		
授業目標	販売は、接客だけで成り立っているのではないという基本を理解する。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	販売実践Ⅱ	履修	必修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	36 単位時間		
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	イベントの企画・運営・実践	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	/	
	2月	/	
	3月	/	
授業概要	販売実践Ⅰの経験を元に盛岡市の観光施設において、地域の特性や、これまでの集客数を鑑み、地域の活性化につながるイベントについて企画実践する		
授業目標	地域の活性化につながるイベントを企画し、運営する		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		



## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	販売理論 I	履修	必履修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	74		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	小売業の種類、流通における小売業の役割	
	11月	マーチャンダイジング、販売と仕入れ計画、在庫管理の仕方	
	12月	ストアオペレーション、荷受けとディスプレイ、作業割り当て	
	1月	マーケティング、顧客管理、売り場づくり、人間関係論	
	2月	過去問題の答練を行う	
	3月	2級の内容について概要理解	
授業概要	販売実践で得た知識を、検定試験の内容で復習しつつ実務として定着させる		
授業目標	リテールマーケティング3級合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	前期
科目名称	キャリアアップ I	履修	必修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	16		単位時間
授業計画	4月	自分を理解する、なぜ業界研究が必要か(業界と職種の違い)	
	5月	業界例(ドラッグストア、スーパー、コンビニ、鉄道会社、ホテル、旅行会社)	
	6月	業界例(不動産、住宅産業、集客、営業、カーディーラー、自動車)	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要	外側しかわからない業界を、『業界地図』や新聞を参考に、社会としてのつながりを理解しながら就職活動につなげる	
授業目標	単に憧れではなく、就職活動をしていく上での自分の指針を明確にする		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	キャリアアップⅡ	履修	必修
担当講師	工藤正剛、武藏聡、磯崎真澄		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	36		単位時間
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	『新聞の読み方』講座、新聞切り抜きレポート提出	
	11月	『広報に役立つ写真の撮り方』講座、新聞切り抜きレポート提出	
	12月	新聞切り抜きレポート提出	
	1月	『伝わる文章の書き方』講座、企業取材、新聞切り抜きレポート提出	
	2月	『新聞作成におけるフレーム割り』講座、企業取材、新聞作成	
	3月	新聞作成、プレゼンテーション	
授業概要	地元新聞社の協力のもと、新聞を活用した読解力、情報収集力、文章力、コミュニケーション能力及び発信力を養成する。最終的には地元企業を取材し、学生新聞を作成。関係者を招いたうえで、制作した新聞についてプレゼンテーションを実施する。		
授業目標	積極的な就職活動を展開するための実践的な教養、常識を身に付ける。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	サービス接遇 I	履修	必修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	40 単位時間		
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	/	
	11月	基本接遇のマナー、サービス知識	
	12月	接遇用語、積極的な接客	
	1月	対人技能、商業用語	
	2月	ビジネス社会の用語 一般常識	
	3月	敬語と話しかた	
	授業概要	サービス接遇検定準1級を12月に受験し、敬語や立居振舞いについて就職試験を意識しつつ実技試験に向ける。	
授業目標	検定合格はもちろんだが、話し方・立居振舞をブラッシュアップさせる		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	秘書技能 I	履修	必履修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無 ・ 有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	16		単位時間
授業計画	4月	/	
	5月	/	
	6月	/	
	7月	/	
	8月	/	
	9月	/	
	10月	/	
	11月	/	
	12月	/	
	1月	ビジネス社会の常識	
	2月	ビジネス社会の常識、仕事をするための基礎知識	
	3月	仕事をするための基礎知識	
	授業概要	基礎的なビジネスマナーを学び、将来の就職試験に活かすとともにビジネス社会での一般教養を獲得する。	
授業目標	就職試験への対応と基礎的なビジネスマナーの獲得		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2020年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科 (総合ビジネスコース)	開講時期	後期
科目名称	就業実習講座	履修	必履修
担当講師	東海林千秋		
担当講師の 実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	32 単位時間		
授業計画	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
	授業概要		
授業目標	実際の企業での就業体験を通じ自分の就業感を確立する。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		